

石川すみえ にじいろ 通信

日本共産党板橋区議会議員 | 区政報告 | 2024年10月2日発行号 (No.114)

プロフィール



石川すみえ、区議会議員（2期目）、健康福祉委員、災害対策調査特別委員。

専業主婦から、保育園に落ちたことがきっかけで区議会議員に。住民の「リアル」な声、区政に届けています。

YouTube

チャンネル登録、よろしくお願
いします



事務所など

事務所

板橋区小茂根 2-27-11
03 (3974) 2405

板橋区役所内日本共産党議員団
控え室

03 (3579) 2717



(写真は、第3回定例会にて)

平和をつくるための方法について

(一般質問より一部抜粋)

石川) アジア太平洋戦争が終結し79年経ったが、世界を見渡せばいまだに戦争が続いている。平和のために力を尽くすことこそが政治家の役割である。今年、マレーシア・ペナン植物園友好提携30周年記念公式訪問があり、マハティール元マレーシア首相に表敬訪問する機会があった。マハティール元首相は私の「ウクライナやガザでは、こどもたちも犠牲になっている。戦争を止めるためにはどうしたらいいのか？」という問いに、「暴力を使っては決して平和にならない。暴力で解決すると、必ず国民が犠牲になる。平和には話し合いが必要である。暴力をつかって平和になっても、恨みがうまれてまた戦争に戻ってしまうから」と仰った。武力による威嚇と武力の行使を永久に放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないと

マイナ保険証がなくても 大丈夫！

12月2日以降も、いまお持ちの健康保険証が使えます。急いでマイナ保険証を作らなくても大丈夫です。

健康保険証の有効期限が切れたあとは「資格確認書」という保険証と全く同じデザインのものが届きますので、心配はいりません。

また、マイナ保険証の登録解除もできます。登録解除の方法は、詳細が決まり次第、区が周知します（私もお知らせします！）

たむの絵本日記



『14ひきの かぼちゃ』

いわむらかずお、童心社、1997年。

規定している日本国憲法9条の精神そのものである。ひとたび戦争がはじまってしまえば、終結は難しく、多くの国民の命が落とされ、次世代には憎しみを継承していく。区長は、国家間の紛争を解決するための手段として、暴力、つまり武力を用いることについてどう考えているのか。

区長）板橋区は、恒久平和主義の理念に基づき、平和都市宣言を行いさまざまな平和啓発事業を展開している。私自身も世界平和を強く希求し、国家間の紛争は話合いや国際協調の下で解決するべきと考えている。暴力や武力行使の根絶を願っている。

それならば、なぜガザの虐殺を無視し、防衛費ばかり増やす政府の姿勢に物を言わないのか。具体的な行動で示すべきと考えます。

株式会社スタヂと不登校対策について

区教育委員会は「三週間で再登校可能」とうたっている民間企業（株式会社スタヂ）と自民党区議を介して接触し、小学校2校を紹介していました。区議団はいち早く教育委員会に対し説明を求め、石川も一般質問でこの問題を取り上げました。

2学期が始まり、学校に行きたくないという相談も増えています。スクールカウンセラーの体制も十分ではなく、区としてやるべきことがまだ山積みです。

引き続き、少人数学級の早期実現や特別支援教育の充実を求めています。

日大板橋病院の建て替えについて

同大学によると、今年度は仮設校舎建設に着工、2032年7月頃に新病院開院とのこと。現在、区の災害時の拠点病院や平日夜間応急子どもクリニックなどがあります。石川すみえは建て替え中も継続するよう要請すべきと区に求め、区も要請していくと答弁しました。